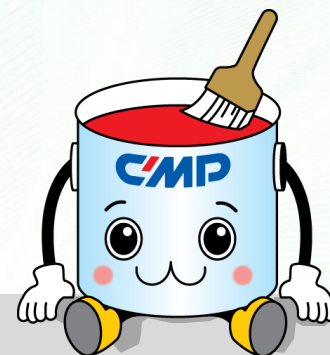


中期経営計画 「CMP New Century Plan 1」 (2018～2020年度) 2018年度の進捗とアップデート

2019年5月9日

証券コード：4617

CMP 中国塗料株式会社



当社キャラクター
「ペンタロウ」

目次

- 1. 2018年度の進捗状況** P3～P12
- 2. 2019年度のアップデート** P13～P17

※当資料の表やグラフに記載している数値の単位は、別途単位の表記がない限り百万円となります。

1. 2018年度の進捗状況

コンパクトで高収益なグローバル・ニッチ・トップ企業

コスト改革

造船業界は大底圏にある一方で、原材料価格は上昇し、厳しい収益環境にある中で、費用構造を再検証し、製造原価・関連経費の極小化を図る。

マーケティング

マーケティング機能を強化し、何処で何をどう売るか、営業体制の見直しを行うと共に、次のステップに向けた「勝てる塗料」を育てる。

生産体制見直し

将来の環境規制を先取りした設備投資を推進しつつ、グローバルな最適生産体制構築を目指す。

自己資本 コントロール

増配／自己株式取得による積極的株主還元を行い、自己資本を適切にコントロールする。

ROE改善

コスト改革

- ✓ 製品統廃合を推進し、前年比15%の品目削減
- ✓ 製造コストを再検証
- ✓ 原材料調達手法を見直し

マーケティング

- ✓ マーケティングプロジェクトチームを組成し、戦略的なマーケティング活動を開始

生産体制見直し

- ✓ 生産工場再編プロジェクトチームを組成し、プランニング
- ✓ 一部製品について国内工場間で生産移管

自己資本 コントロール

- ✓ 年間34円（DOE3.1%）の配当を実施（予定）
- ✓ 50億円の自己株式取得

【船舶用塗料】

売上高

2018年度 目標	2018年度 実績	達成率
56,900	63,831	112%

シェア

		目標	2018年度 実績
新造船	日本	60%以上	60%
	韓国	15%以上	12%
	中国	20%以上	9%
	世界	25%以上	24%
修繕船（世界）		20%以上	18%

営業

- ◆採算重視への方針転換により、シェアは目標を下回る
- ◆マーケティングプロジェクトチームを組成し、製品説明会や高付加価値製品の戦略的プロモーションを実施
- ◆大型クルーズ船6隻を受注

技術・製品

- ◆プレジャーボート用塗料の北米展開に向けて認証機関へ製品登録申請
- ◆新規防汚剤技術を用いた高性能防汚塗料（亜酸化銅フリータイプと亜酸化銅併用タイプ）の開発・市場投入

【工業用塗料】

売上高

2018年度 目標	2018年度 実績	達成率
13,000	12,575	97%

- ◆ 建材分野の売上は堅調、国内の重防食分野が伸び悩む
- ◆ アライアンスを模索

注力分野

- ◆ **木質以外の建材UV塗料**（塩ビ床/内外装壁/建材用シート）
 - ・ 2018年度売上高：**520百万円**（前期比1%増）／2020年度目標：600百万円
 - ・ 機能性塗料（抗菌等）の開発を推進
- ◆ **高機能UV塗料**（フィルム、車載用プラスチック等）
 - ・ 2018年度売上高：**320百万円**（前期比10%増）／2020年度目標：400百万円
 - ・ ヘッドライト用ハードコートが中国の自動車メーカーに採用
- ◆ **重防食用塗料**
 - ・ 東南アジア諸国で橋梁や軌道関連案件の受注が拡大

【コンテナ用塗料】

売上高

2018年度 目標	2018年度 実績	達成率
12,800	11,721	92%

シェア

	目標	2018年度 実績
世界	20%以上	11%

- ◆ 需要増により前期比では二桁増収となるも、価格競争激化のため受注を抑制し、シェアは低下
- ◆ 環境に配慮したコンテナ用水系塗料による市場対応、次世代に向けた更なるVOC削減の取組みを推進

【海洋開発】

- ◆ 国内の浮体式洋上風力発電プロジェクト（**8基**）の塗料を受注
- ◆ 大学や研究機関との共同研究を推進
- ◆ 法律の整備等により今後は国内でも洋上風力発電の導入が加速、市場の拡大を見込む

生産

- ◆生産工場再編プロジェクトチームにより、製造コストの再検証と具体的な再編プランの検討を推進
- ◆一部製品の生産を滋賀工場から九州工場に移管し製造コスト削減

資材

- ◆一部の原材料で調達先の集約やグローバル調達を実施
- ◆主要原材料価格の高騰により、調達コストは前年度比+6.3%に（目標：同△3%）
※各種施策の効果もあり、2018年度下期の調達コストは上期比で△1.0%

企画・管理

- ◆機関投資家向け会社説明会、決算説明会（2Q）を開催、決算説明資料（3Q）を公開
- ◆コーポレート・ガバナンス強化のため、指名・報酬の両諮問委員会を設置

株主還元及び資本効率改善

	本中計の方針	2018年度の実績
配 当	自己資本配当率（DOE） 3% かつ連結配当性向 30% を 下回らない水準で実施	【予定】 1株当たり年間配当金： 34円 DOE： 3.1% 配当総額：約 20億円 配当性向： N/A （当期純損失計上のため）
自己株式取得	2020年度までの3年間で 100～150億円 の機動的な 自己株式取得を実施	約 50億円 を取得 （2018年5月～11月）
政策保有株式	保有意義の見直しを随時行い、 保有意義が低いと判断された 株式は売却を検討する。	3銘柄 を売却 特別利益 6.8億円 を計上

役員向け譲渡制限付株式報酬（RS）

- ◆2018年6月の定時株主総会で関連議案が承認され、同年8月に21,900株を付与
- ◆一定期間の在籍を譲渡制限解除条件「在籍要件型」と、本中計最終年度（2020年度）のROE目標達成を譲渡制限解除条件とする「業績要件型」の2種類で構成

従業員向け持株奨励策

- ◆本中計における各年度の営業利益目標及びROE目標の達成状況に応じ、従業員持株会を通じて、各加入者に2018～2019年度は最大100株、2020年度は最大200株（それぞれ株数相当の奨励金）を付与

船舶用塗料が牽引し売上高は目標を上回るも、
原材料価格高騰の影響を受け原価率が上昇、利益項目は軒並み大幅未達

	2018年度 目標	2018年度 実績	差異	達成率
売上高	83,000	88,452	+5,452	107%
船舶用塗料	56,900	63,831	+6,931	112%
工業用塗料	13,000	12,575	-424	97%
コンテナ用塗料	12,800	11,721	-1,078	92%
その他	300	323	+23	108%
営業利益	3,000	△588	-3,588	—
経常利益	3,300	△170	-3,470	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,000	△710	-2,710	—

2. 2019年度のアップデート

資金活用方針

※本中計策定時点から変更なし

- ◆ **成長投資を最優先**。最適生産体制構築の為、国内外主要工場の移転や老朽設備のリニューアルを予定。競争力強化の為の製品開発にも注力。
- ◆ その上で、余剰資金については、積極的株主還元を行い、自己資本を適切にコントロールし、ROEの改善を図る。

投資計画

- ✓ **中長期的な利益成長実現**のため、2019～2020年度累計で**80億円**程度の投資を予定
- ✓ 主な設備投資計画

プロジェクト名	想定投資規模 (※)	予定時期	目的
ミャンマー工場新設 (現法設立)	8～10億円	2019年度	ミャンマーにおける競争力強化と市場開拓
滋賀工場リニューアル	40～50億円	2020～2021年度	生産効率改善
東アジア地域生産体制見直し	30～80億円	2019～2022年度	生産効率改善/環境対応

※プロジェクト全体 (2021年度以降分を含む)

- ✓ **アライアンス (M&Aを含む)** も積極的に活用

株主還元及び資本効率改善

株主還元方針及び前記の投資計画（2年間で80億円程度）を踏まえ、
2019年度は以下の通り実施予定

配 当

1株当たり年間配当金：**34円**（総額**20億円**程度）

DOE：**3%以上**

配当性向：**30%以上**（予想利益ベースで**206%**）

自己株式取得

25億円（2019年5月10日から最長1年間で**市場買付**）

✓ 2018年度からの**累計で75億円**

✓ 2020年度は**25億円以上**の取得を想定

政策保有株式

保有意義が低いと判断された株式は売却を検討

従業員の自社株保有促進策（追加）

- ◆2018年度に実施した持株会施策に加えて、新たに**従業員向け信託型株式報酬制度（日本版ESOP）**の導入を検討

I R活動の強化

- ◆**決算説明会**を年2回（通期/2Q）継続的に開催
※1Q/3Qは決算説明資料を公開
- ◆**ESG関連（SDGsへの取組を含む）**の情報開示を拡充
- ◆**個人投資家向け** I R活動を開始

連結業績目標

事業環境の変化と足元の業績を踏まえ、以下の通り修正

2021年度以降、2020年度当初目標の早期達成を目指す

	2019年度 当初目標	2019年度 業績予想	2020年度 当初目標	2020年度 修正目標
売上高	87,000	90,000	100,000	100,000
船舶用塗料	59,700	67,800	69,000	69,000
工業用塗料	13,500	12,880	15,000	15,000
コンテナ用塗料	13,500	9,000	15,700	15,700
その他	300	320	300	300
営業利益	4,700	1,500	8,700	5,000
経常利益	5,000	1,700	9,100	5,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,000	1,000	5,500	3,100
ROE	—	—	8.0%	5.0%



www.cmp.co.jp

本資料における見通しは、2019年5月9日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。
実際の業績は様々なりリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。